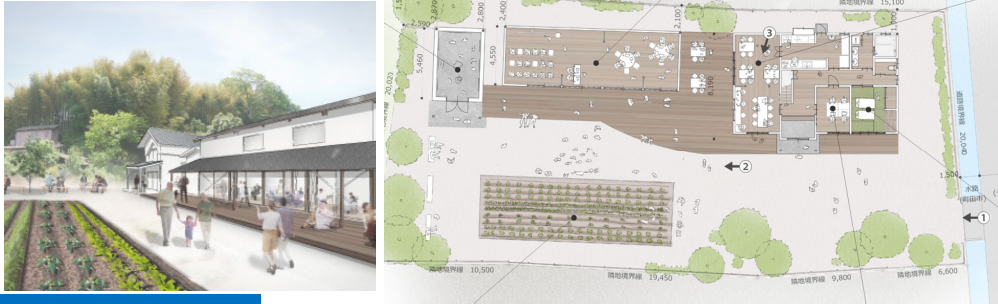


小野路宿メディカル・ヴィレッジ

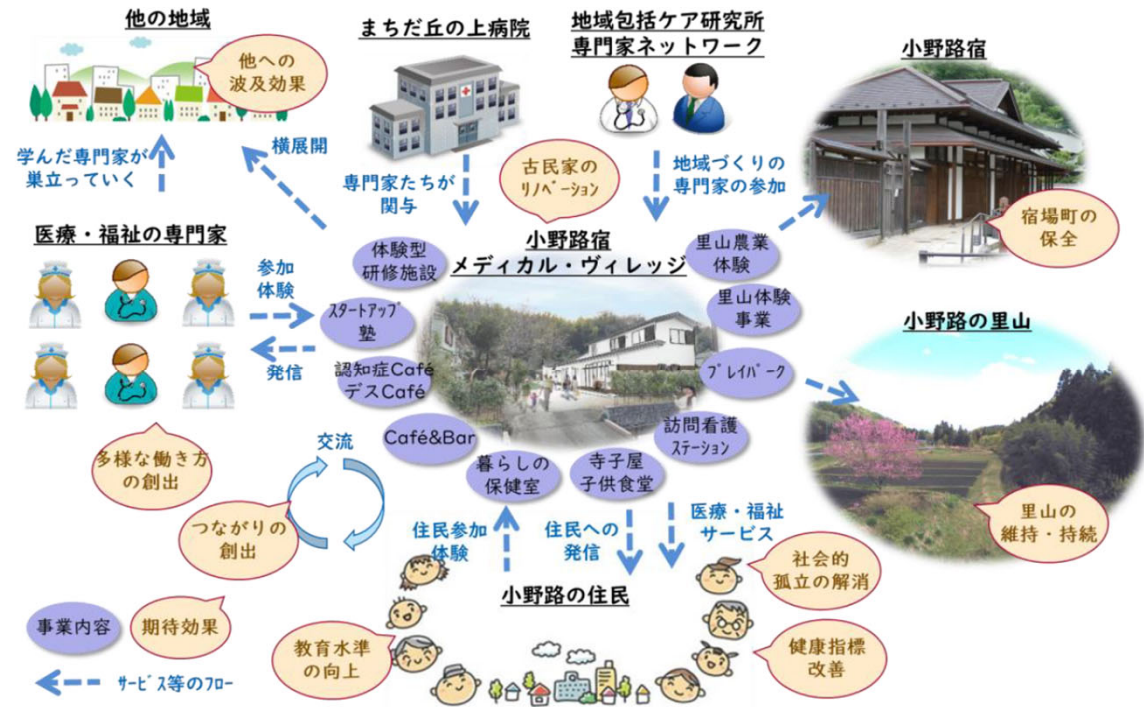
里山地域に立地する古民家を改修し、コミュニティ拠点を整備し、「ごちゃまぜ」事業を地域に展開することで、持続可能な地域社会の創出を目指す。

- 東京町田市の小野路町は、里山景観等の自然環境が残るが、市内でも特に高齢化が進む地域である。
- 本提案は、地域の医療機関が中心となり、里山地域の中心地に立地する古民家を取得し、メディカル・ヴィレッジ（カフェ、訪問介護ステーション、集いの場、ギャラリーなど）に改修するものである。
- 地域の課題に対し、医療・福祉事業者とともに、地域住民を巻き込みながら、複数の事業を「ごちゃまぜ」に展開し、地域住民の誘引、コミュニティのつながりを生むことで、地域全体の健康指標の改善、自然・文化の継承、持続可能な地域社会の創出を目指している。

整備計画イメージ図



事業実施体制イメージ図



事業概要

代表提案者	一般財団法人ひふみ会
共同提案者	一般社団法人地域包括ケア研究所、一級建築事務所秋山立花
事業実施場所	東京都町田市
事業実施内容	メディカルヴィレッジ施設の新築(2階建て、3棟:訪問看護ステーション、体験型研修施設、ギャラリー、多目的スペース、カフェ等)、ワークショップ、里山農業体験等の実施、アンケート実施、HP作成、広報物の作成・配布等
事業実施期間	令和元年10月～令和4年3月

評価委員会での評価内容

- 地域の課題を多角的な視点で捉え、複数の事業で複合的に解決しようとするスキームは先導的であり、多様な主体の連携が見込めることから継続的な推進体制が構築されている。
- また、多様な人々のつながりによる互助の形成、里山文化の継承の拠点として古民家等を活用し、屋外空間も含め有効に活用することで地域らしさを尊重しようとする取り組み内容は高く評価できる。